

課題名：地域の観光資源を活かした中山間地農業の振興

【評価できる点】

- ・農業と観光との連携による地産地消、観光農業推進が出来て、数字が伸びている。
- ・温泉に、ブルーベリー枝物、コンニャクの鉢植えを配布したことで、誘客に繋がったのは良い。
- ・地産地消推進を図り伊香保温泉への食材提供イベント販売でのアピールが出来ている。
- ・食農体験や高校生を含めた新商品の開発、また「お香女会」の現地見学など、地産地消を多方面から進めていて関係者への周知度は上がっていると思う。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・農業と観光の連携による地産地消、観光農業の推進という渋川・北群馬地域の産業構造にマッチした課題に積極的に取り組まれており、地域経済の活性化が期待できる取り組みである。観光業者だけでなく、地域住民も巻き込んだ食農体験講座や学生とコラボした地産地消検討会、JRや高速SAと連携したマルシェやイベント等、多彩な活動を行って当地域の農業のPRにつとめたことは高く評価でき、担当者の熱意が感じられる。
- ・地産地消をふまえ、食農体験や、農産物現地見学会等を行えたのは、食の安全・安心を基にした活動実績と思う。

【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・連携を強化して何を指すのかがない。事業目標は中山間地農業の振興だと思うが、活動参加団体数や、企画数、イベント数などは、到達目標ではなく目標達成の為の通過ポイントだと思う。
- ・到達目標の指標設定について、再検討した方がいいのではないかと。
- ・最も必要なのは、伊香保温泉との農産物取引額なのではないか。
- ・新商品企画開発数としてカウントするのは一定水準以上、普及したものに絞るべきではないかと思う。
- ・PRイベント等交流企画数は、行動目標であって最終的な評価目標とはならない。
- ・全般的に抽象的で具体性がない事業に見受けられる。農業振興に向けて具体的(イベント時販売額、観光農園の来園者数、新商品の企画販売)などの目標を設定してほしい。
- ・伊香保温泉との連携については、これまで何年にもわたり取り組んできたようであるが、少々活動がマンネリ化しているように感じるがいかがか。
- ・残された課題の1, 2ともそもそもこれは本プロジェクトの当初からの目的ではないのか。→これまでの取り組みによる成果は、どうなっているのか。

2 活動内容に関すること

- ・伊香保温泉との連携強化で、地域農業の活性化に期待。
- ・JA直売所の品揃え充実のため、今後とも多品目の生産振興に指導願います。他県(岐阜)など類似の事業を参考により効果的な事業にしてほしい。
- ・当地域の特色として、伊香保温泉は大きな存在・資源であり、ここと連携・活用し地域農業を振興しようとするについては正しいことであり、理解できるが、それが実際の農業振興に結びついているのか良く見えない。また、取り組みが総論的な段階で留ま

り、活動自体もマンネリ化しているように思う。もう少しのを絞り進めていったらどうか。

- 関係団体で会議を行った結果から事業目標達成に向けどんな活動を行ったかが見えてこない。新商品を企画するのは良いが、それを生かしてどうに目標達成に寄与したか不明。
- 一般の消費者に対しても、温泉との連携のメリットを伝えてもらうことが必要と感じるので、より広く消費者サイドに伝えるためにイベントや広報活動に工夫をしていく必要があると思う。
- 商品企画に留まらず、より多くの商品化実現に期待している。また、伊香保温泉に来たお客に、この場所ならこれが食べられるという食材、商品のアピールが欲しい。
- 中山間地農業の課題は大変多いと思う。伊香保温泉との連携は大変良いが、他にもないのか。学校連携や、地域の商店街、地産地消など、もっと PR することなど継続して行ってほしい。